Associé
No.43 / 2025.05

入職式　18名の新たな仲間たち

2025年4月1日（火）　高齢者福祉施設 修徳　せんだんホール

紫野　金子 蓮さん	本能　藤井 真都佳さん	修徳　川﨑 春花さん	修徳児童館　佐津 春日さん
小川　板東 千咲さん	本能　清水 あゆみさん	修徳　黒木 孝太朗さん	山科事務所　櫻井 暖さん
小川　松吉 五月さん	西院　日高 舞さん	修徳　重富 雅子さん	久我の杜　廣瀬 里英さん
小川事務所　名越 佳子さん	朱雀事務所　池上 美代子さん	修徳　中島 綾子さん	
本能　岡本 彩さん	朱雀事務所　三原 千佳さん	修徳　深田 実乃璃さん	

2025年度、新卒を含む18名が法人の新たな仲間としてせんだんホールにてスタートを切りました。
法人でのアルバイトや別雇用形態での勤務や他社での経験を積んで正職員採用となられた方等、様々な経歴の皆さんが法人に集まりました。新卒の方は、内定者ゼミを通して、内定者同士の絆を強め、法人内の取組みへの理解を深めながらこの日を迎えられ、それぞれの配属先へ飛び立つ日ともなりました。
桜が咲こうと暖かくなり始めたこの日、晴れやかな表情と目標を掲げられたような力強いまなざしが、ホール全体を明るく照らすように眩しく感じました。

理事長から訓示があり、今年度は法人にとって変革期を迎える一年であり、「2030VISION」策定に向けて職員が一丸となって取り組む状況の説明と、共に歩む皆さんに「さぁ、掲げよう。」と旗をふりました。
新入職職員の皆さんに大切にしてもらいたいことは、「あなたが笑顔でいられること」。困難に思えることがあったとしても、職場では職員同士協力しあい、ご利用者に元気づけられることもありながら、あなたが笑顔でいられるよう、支え合える法人でありたいです。
フレッシュな一年の始まり、法人職員皆さんで今年もたくさんの笑顔に出会っていきましょう！

2025年度事業計画から

ブロック編成を見直しました 事業所間連携を促進します

2023年4月に法人組織を一体化した際、市内に点在する28事業所を5つ（A～E）のブロックに分けることで、各ブロック内の事業所間連携を広げ、深めながら、地域性や各事業の特性を活かした事業運営となるように権限移譲を図り、より身近で、よりスピーディーな意思決定ができることを目的としてブロック制を導入しました。

それから２年が経ち、よこ糸カフェや各ブロック独自の交流会や研修会を通じて、ブロック内の事業所や職員の交流も増えてきました。しかしながら、日々の仕事でブロックを意識する機会が少なく、ブロック制が浸透している状況とまでは言えませんでした。

また、当初のブロック編成ではブロックによって、児童館があるところ・ないところ、特養があるところ・ないところ、小規模多機能があるところ・ないところ、訪問介護事業所の数など実施事業に偏りがありました。

そんな中、昨年の法人職員を対象に開催したビジョン対話セッションでは、高齢分野の職員が児童館職員と話せたことで刺激を受け、この仕事のやりがいや醍醐味を改めて考える機会になりましたとの声も多く聞かれ、**各ブロックに入所系施設、訪問系事業所、小多機、児童館がそれぞれバランスよく入る意義や意味が大きい**ことに改めて気づかされました。そこでこれまでの５ブロックを４ブロックに再編成し、法人が実施する事業の多様性を実感し、活かせるようにしました。

今後は新しいブロック体制のもと、これまで以上に**ブロックの独自色を出しながら、職員同士の顔が浮かぶような関係が築けるようにしていく**ことで、ブロックの取組みに積極的に参加し、活動や取組みがより一層活発になっていけばと思います。

事業本部長
（塩澤宏、木戸玲子、井上章）

※2025年度の事業計画は、法人ホームページに掲載されます。
HOME ＞ 京都福祉サービス協会について ＞ 情報公開
https://www.kyoto-fukushi.org/

新ブロック長に聞きました！

新たなブロック体制、2030VISIONへの想いや考えなど、職員の皆さんと一緒に法人を変えていこうというメッセージが詰まっています。

❶新ブロック体制で、目標/期待/キーワードとしていきたいことを教えてください
❷「VISION策定」へのブロック長ご自身の想いを教えてください
❸「対話」についてブロック長ご自身の想いやお考えを教えてください
❹仕事以外の日は何をしていますか？
❺わたしは〇〇に関してこだわりがある！

小川
施設長

稲本真樹

Aブロック長

❶ 2024年度は年間を通じて、2030VISIONプロジェクトで対話を重視してきました。どちらかからの一方的な話ではなく、お互いにしっかりと相手を意識して話し合うことが重要です。ブロックでも「対話」をキーワードに取り組んでいきたいです。

❷VISIONが延期になったことを皆様はどう捉えていますか？私はより多くの意見や声を聴くための期間を持つと同時に、法人として覚悟を持って延期したのだと理解しています。最終的に決めるのは一握りの職員かもしれませんが、それに至るまでの声は聴いてくれる法人です。皆で様々な意見を出し合い、自分たちのVISIONを一緒に掲げましょう！

❸①でブロックでの取り組みたいこととして「対話」を挙げました。**対話とは一度や二度の会話ではなく、それを繰り返していくことだ**と考えます。対話によって行動にも変化が出ます。「心が変われば態度が変わる」「態度が変われば行動が変わる」そのきっかけを作るのが「対話」だと思います。

❹家族と出かけることも多いですが、読書やジョギングなどのスポーツをしています。…というのは理想です。

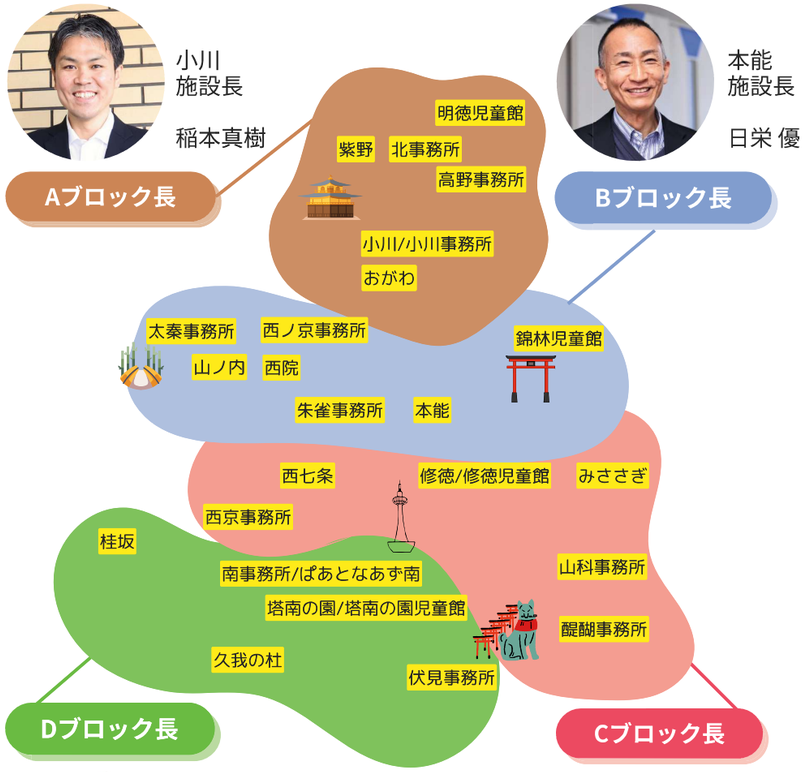
❶◆7月開始の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が法人の基幹事業として、在宅の24時間365日体制を担い、他地域での展開につなげる。
◆Bブロックに新加入の児童館事業を念頭に「胎内から天国まで」「重層的支援」「伴走型支援」に取り組む。
◆「評論家や批評家」は不要。「文句」ではなく「意見」を出せる。
◆「見える化・可視化・言語化」「想像力・創造力」「ペイフォワード・お互い様」

❷2030VISION中間報告でも記した通り、会社の将来は「社員が『掲げる目標』と『その仕事ぶり』で決まるとすれば、その目標こそ「VISION」です。「情報を適切に判断し、『我が事』と捉え、俯瞰的な視点で想像でき、創造的な意見と建設的な提案ができる」そんな皆さんと協働できることを楽しみにしています。

❸2023年5月号アソシエに「対話による相互理解と化学変化を起こして、新しい価値観のインストール」と記しました。等身大の自分自身で、**能動的に「考える」「言語化する」「表現する」「想像する」**ことだと考えています。

❹#家事全般　#スーパー銭湯　#朝ラン　#うまいもの　#スイーツ　#珈琲　#乱読　#音楽　#御朱印　#英語のリスキリング　#植物を愛でる

❺シチューは手作り（大学時代、洋食屋さんでバイトしていました）



本能
施設長

日栄 優

Bブロック長

Dブロック長

塔南の園
施設長

安岡英樹

❶ 京都福祉サービス協会は、たくさんの事業を運営し、それぞれの事業でご利用者のくらしに笑顔と安心を届けられるよう、努力・工夫されていますが、所属したことがない事業についてはわからないこともたくさんあります。ブロック制の中でいろいろな事業の取組みを知り、お互いに刺激を受けあい、職員同士がつながりを感じ、そうしたつながりから課題をブロック内で解決でき、安心して業務に取り組めるようにしていきたいです。

❷ 多くの職員の皆様の声が詰まったVISIONとなるよう協議を重ねています。策定に向けてはVISION、MISSION、VALUE全てをしっかりと共有することが重要で、緊張感をもって進めています。

❸ 在宅相談員の頃から、**ヘルパーの皆様と同じ目線でたくさん話し合い、ご利用者支援に向けて思いを共有してきました。**今思い返せば、それも対話だったのかなと思いますが、その対話があったからこそ、今の自分があります。大変有益な時間でした。

❹ 掃除・洗濯・買物・散歩

❺ 山道具（軽量・機能的・自然環境にやさしい・人道支援に繋がっている）

❸互いにチームや職員一人ひとりを尊重し、自律を支援するような、そんな職場風土が理想的だと思っています。これらの実現には「対話」を欠くことはできません。みなさんとの「対話」を積み重ね、一緒に実現できればと思います。

❹自宅でゆっくり過ごすのが好きです。ぼんやりテレビを見ながら遅めの朝食、ストレッチ、ジョギング、買い物、ウクレレ、コーヒーを飲みながら録画したドラマや映画をいっき見して片付けるなど、大体、ゴロゴロしています。そんな休日が最高です。

❺お笑いと映画とプロレス、そして、長渕剛。特に長渕のライブは毎年行っています。ファン歴はかれこれ40年以上。当時、よく聞いていた深夜ラジオから流れる特徴的な歌声にすっかりはまってしまいました。長渕のこと、皆さんもお好きですよね。

西七条
施設長

舌 洋一

Cブロック長

❶私の仕事は、職員が働きやすい環境をつくることだと考えています。具体的には、安心して安全に働けるように。仕事にやりがいを感じ、楽しく働けるように。そして、ご機嫌で働けるようにすることです。そのことが、職員や利用者、地域の幸せにつながるのではないかと思います。新ブロックでしっかり話合っていきたいです。

❷VISION策定のためのプロセスが重要。改めて考えると2030VISION構想プロジェクトにかかる一連の取組みは、VISION策定のために法人全体が参加（対話）することに意味があったのではないか思います。今とこれからをテーマに一緒にお話しできたことは、とても貴重な時間だったと思います。

下坂厚の写真日記　20　最終回

#記憶とつなぐ

InstagramはQRコードをscan

ATSUSHI_SHIMOSAKA

京都　大原の菜の花畑を眺めながら、
このアソシエの最後の原稿を書いています。
私が、若年性認知症の診断を受けた後、京都福祉サービス協会のデイサービスではたらくご縁をいただき、ケアワーカーを経て、アソシエの広報委員として写真日記を担当させていただきました。
この連載をはじめてから、どれくらいのまなざしに出会ってきたでしょうか。
介護の現場に立つ方々、ご家族、そして、日々を生きる一人ひとりの利用者さんのまなざし。写真を通して、その一つひとつに触れ、心を動かされる日々でした。
福祉や介護の仕事は、ともすれば「支える側」「支えられる側」と分けられてしまいがちですが、私が出会った光景は、いつも互いに与え合い、寄り添い合う関係でした。カメラを構えながら、教わることばかりだったように思います。
この連載は今回で一区切りとなります。長らくお付き合いくださった読者の皆さんに、心から感謝いたします。
そして、これからもどうか、身近なまなざしに気づき、小さな物語を大切にしてください。それが、未来へのやさしい希望につながると信じています。
また、どこかでお会いできる日まで。
ありがとうございました。

写真家・下坂 厚

桃の花受納式

2025年3月17日　総合福祉施設塔南の園 デイフロア

山梨県の加納岩(かのいわ)果実農業協同組合様より、大事に育ててこられた桃の花が届けられ、法人を代表して、総合福祉施設塔南の園で受納式を行いました。
同農協組合様は、昭和６１年から京都市内の福祉施設へ、春には桃の花を、夏には桃の寄贈を始められ、施設ご利用者には季節感が味わえると大変喜ばれています。ご利用者代表のお二人が桃の花を受け取ると、にっこりと笑顔がこぼれました。

西野山団地カフェ　#106 #107

西野山団地の5号棟 106号室、107号室では、週３日カフェが開かれています。地域住民を中心に、午後は子どもたちが放課後に自然と集まるようにもなってきています。法人職員の皆さんにも参加いただけるイベントも開催していますので、是非一度、ご家族やご友人もちろんお１人でもいらしてください！

よこ糸カフェ 2025年度計画

2022年度に地域共生社会推進センターの主催で始まったよこ糸カフェは、年々参加職員の幅が広がり、2024年度にはブロック単位で開催するようになり、文字通り「よこ糸」を繋ぐように職員同士のつながりを感じられる取組みに育ってきました。
2025年度は2024年度の運営方法を継続し、4ブロック＋法人本部主催でも実施予定です！
日程や開催内容は、NIコラボの回覧板にて随時お知らせしていきます。所属ブロックも越えて、皆さんのご参加をお待ちしています！

Associé編集後記　表紙右上のイラストは「初夏が旬の食べ物」。ホタルイカがたまらなく好きです。食べ過ぎは痛風に注意してください(N)
2021年11月号から始まった下坂さんの写真日記。認知症の当事者の想いを広く社会に発信する活動の傍ら、写真家として四季折々の風景や人々の暮らしを撮影されている下坂さんの写真と文章で紙面を飾っていただきました。心から感謝しますと共に、今後の更なるご活躍を期待しております（A）

情報誌 Associé［アソシエ］／第43号(2025年5月号)　発行／社会福祉法人京都福祉サービス協会　編集／経営企画室総務部
所在地／〒604-8872 京都市中京区壬生御所ノ内町39番5　電話／075-406-6330（代表）